

家族同士で安否連絡

NTT災害用伝言ダイヤル

通信障害時でもつながる伝言板です。

利用可能端末：NTT加入電話、公衆電話、携帯電話等
提供開始：地震等の災害発生時に開始される

録音編

- ①「171」をダイヤル
- ②録音は「1」を入力
- ③自分の電話番号を入力
- ④ガイダンスに従い録音する



再生編

- ①「171」をダイヤル
- ②再生は「2」を入力
- ③確認したい相手の電話番号を入力
- ④録音された安否情報を聞く

札幌市防災アプリ「そなえ」

災害別ハザード情報、災害別避難場所情報、避難勧告や気象警報等、災害時に役立つ情報を入手できます。

インストール二次元バーコード



日頃の準備が大切

日頃から準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておくことが大切です。

- 避難場所の確認（大学付近および自宅周辺）
- 家族との連絡方法および待ち合せ場所の確認
- 災害用伝言サービスの確認と登録
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認
- 緊急時メモの作成・記入
- 停電時でも情報収集ができる具体的な手段を準備（ラジオ等）
- 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 大学および友人等への連絡方法およびリスト整備



緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- 現金（小銭も）
- 学生証
- 健康保険証
- 雨具
- タオル・絆創膏・包帯
- 手回しラジオ・ライト
- ポリエチレン製ごみ袋
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- チョコレート・あめ など
- 油性マジックペン
- USB充電ケーブル（スマホ等）
- モバイルバッテリー



その他非常時に必要なアイテム

- 常備薬
- 上着・下着・靴下
- 運動靴
- リュック
- 卓上コンロ
- 懐中電灯
- ろうそく
- 缶切り・栓抜き
- 予備電池
- 非常食用料
- 水
- 洗面用具
- 貯金通帳
- 印鑑

memo



HGU

災害時対応 マニュアル

詳しくはWEBへ



日頃から災害に備えて
確認しておきましょう

2024年1月発行

災害時は、 学内ポータルサイト 「G-PLUS!」を確認!



大学の対応など情報が配信されます。

Jアラートが鳴動したら…

地震や津波、弾道ミサイルの発射など、すぐに対処しなければならない事態が発生した際に、政府は全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用し、緊急情報を伝達します。

〈もしも弾道ミサイル発射を伝える内容だったら…〉

- 屋外にいる場合
近くの頑丈な建物か、地下へ避難する。
- 建物がない場合
物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合
窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。



火災発生時は冷静に

火災避難のポイント

- 火災を発見したら大声で周りの人に火災を伝え、近くの非常用ベルを押す。
- 119番へ通報し、受付や事務室に連絡する。
- 火が天井に到達していない発火から3分以内の場合、可能であれば初期消火をする。危険と感じた場合は、直ちに避難する。
- 避難時、延焼を防ぐため、燃えている部屋のドアは閉め、空気を絶ちます。
- エレベーターは使用せず、階段で避難する。
- 煙が充滿している場合は、姿勢をできる限り低くし、ハンカチなどで口・鼻を覆い、煙を吸わないように避難しましょう。
- 一度避難したら戻らないでください。



災害が発生したら

正確な情報を収集する

- 倒れやすいものから離れ、落下物に注意。
- むやみに動かず安全を確認。
- 非常口やドア等を開けて避難口を確保。
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に。（火を扱っている場合は、身の安全を確認後、火の始末）
- エレベーターは使用せず階段で避難。
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動。
- 負傷者の救護や初期消火に協力。
- 家族との安否確認。



地震発生直後は裏面へ

HGU 緊急時パーソナルメモ

氏名： _____

学生番号： _____

学部： _____

学科： _____

緊急連絡先： _____

住所： _____

電話番号： _____

持病： _____

アレルギー： _____

自宅近くの避難場所： _____

地震発生



- 自分の身を守る
- 自分のいる場所は安全か？

YES

NO

その場を動かない

避難場所へ移動

家族への
安否確認

自宅に歩いて
帰れる？

YES

NO



自宅へ

避難場所へ

※災害発生時の居場所によって避難場所は異なります。

地震発生直後

揺れがおさまったら

落ち着いたら①

落ち着いたら②

大学にいるとき

- 窓や棚など割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる。
- 机の下に落ちるか、カバンなどで頭を覆い、落下物から頭と手足を守る。
- 余裕があれば、ドアを開放し、出口を確保する。
- 実験中など火気を使っている時は身の安全を確保した上で、火を消す。また、薬品などから離れる。
- 広場やグラウンドなど、落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込み、揺れがおさまるのを待つ。



大学にいるとき

- 一時避難場所
(豊平キャンパス) 北海高校サッカー場
および野球場
(山鼻キャンパス) 敷地内駐車場



地震の程度、災害状況により一時避難場所を封鎖、変更をする場合があります。近くの教職員の指示、全館放送の指示に従ってください。

- 地面・床の亀裂や陥没・隆起に注意する。
- 出口には、殺到せず、あわてず避難する。
- エレベーターは使用せず、階段を利用する。
- ドアは開放したまま避難する。ただし、火災が発生し消火不能の場合はドアを閉め避難する。
- SNSなどで情報収集する際は、デマに惑わされないようにする。
- 停電した場合、誘導灯を目印に避難する。



豊平キャンパス避難マップ

通学・通勤中のとき

- 周辺の状況に注意し、身の安全確保を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- 電車、バスに乗車中の場合は、窓やガラスから離れボールなどにつかまり衝撃に備え、係員の指示に従う。
- 車に乗っている時は、一旦左側に寄せ、ラジオ等で情報を入力し、徒歩で避難する。



通学・通勤中のとき

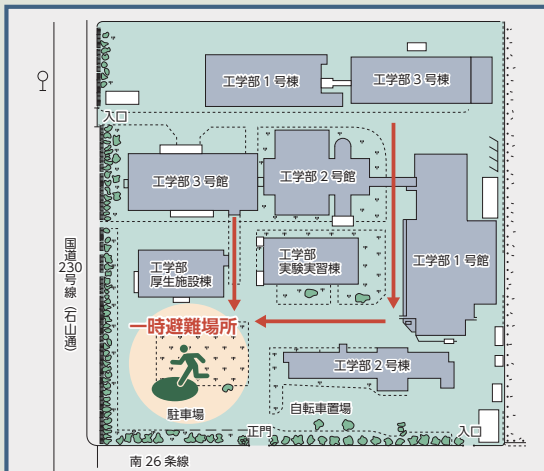
- 避難中は警察や消防の指示に従う。



災害に備えて知っておこう！

災害時には、スマートフォンやPCが使えなくなるかもしれません。インターネットが使えない場合も想定し、準備しておきましょう。

- 自宅の備え
日頃から防災グッズなどを揃えたり、棚などの転倒防止対策をするなど、事前に備えましょう。
- 家族と事前に確認
大地震が起きたときに、どのような行動をとるか、集合場所などを家族と確認しておきましょう。
- 災害時の避難場所の確認
災害が起きたときに、地域ごとに避難場所が設置されます。事前に自分が住んでいる地域の避難場所を市町村のホームページなどを通じ、確認しておきましょう。
- 大学からの連絡について
地震や大災害発生時には、臨時休校になる場合があります。大学のWebサイトやG-PLUS! を通じ、確認しましょう。



山鼻キャンパス避難マップ

指定緊急
避難場所
へ移動



北海学園大学
豊平キャンパス
 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号
山鼻キャンパス
 札幌市中央区南26条西11丁目1番1号